

進路だより

2019. 3. 8

第 6 0 号

香川県立香川東部養護学校
進路指導部



ご卒業おめでとうございます

小学部9名、中学部16名、高等部26名の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。小学部の児童は中学部に、中学部の生徒は高等部に進学します。高等部の生徒は社会へと巣立っていきます。日々の授業、学校行事、部活動、現場実習など、これまでに積み重ねてきた力を存分に発揮して、次のステージでも頑張ってください。卒業後の生活が心豊かなものとなるよう応援しています。

高等部卒業生の進路先一覧

事業種	進路先	地域	仕事・活動内容
一般就労	老人介護施設	さぬき市	施設内外の清掃など
	病院	さぬき市	施設内外の清掃、環境整備など
	大型小売店	高松市	フロア業務（品出し、レジ）、バックヤード作業など
	特例子会社	高松市	施設内外の清掃など
	官公庁	高松市	オフィスサービス業務
就労継続支援 A型	ウィズくすがみ ※	高松市	うどん店での洗浄、接客、清掃、ホテル客室の清掃
	サンライン	丸亀市	ホテル客室の清掃
就労移行支援	ワークセンターはくちょう ※	東かがわ市	軽作業、清掃、農業など
	ヒトトコ	高松市	パソコン操作、ソーシャルスキルトレーニングなど
就労継続支援 B型	グッジョブ MOEGI	高松市	パンの製造、袋詰めなど
	さつき園	東かがわ市	箱折り、組立、チラシ折りなど
	シエンタ	高松市	菓子の製造補助、箱折りなど
	やまもも	観音寺市	菓子の製造補助、袋詰め、農業など
	なごみ工房	東かがわ市	商品の袋入れ、農業、菓子・弁当製造補助など
	Doやまびこ	高松市	菓子の製造補助、軽量、袋詰めなど
	ドリーム	高松市	ボルトナット作業、段ボールクラフトの袋詰めなど
	コンサフォス ※	高松市	箱折り、菓子の箱入れ、シールはりなど
生活介護	ウォークス	高松市	ボルトナット作業、ウォーキングなど
	きらり	高松市	シュレッダー作業、ボルトの袋詰めなど
	ゆめぼけっと	さぬき市	軽作業、作品作り、体操など
	なないろ	高松市	ボルトナット作業、ウォーキングなど
	コンサフォス	高松市	菓子の箱入れ、シールはり、体操など
	ほっと支援キラキラ	高松市	ボルトナット作業、缶つぶし、ウォーキングなど

※ 2名の生徒が就労します



小学部



～準備と片付け～

3学期に入って、年度の終わりが近づいていますが、今回は、様々な活動の始めと終わりにある準備や片付けに着目し、自立に向けた取り組みをいくつか紹介したいと思います。

1年生 ～学校生活の準備、持ち物の片付け・着替え、手順カードの活用～

3学期になり、1年生も学校生活にすっかり慣れました。しかし4月の入学当初は全てが初めてのことばかりでした。まず、教室に入ると持ち物の片付けをし、体操服に着替えてから、学校生活の活動が始まるという流れの理解に取り組みました。片付けの手順カードを絵カードで示し、一緒に確認しながら片付けました。なぜ着替えなければいけないのか分からず着替えに取り組めない児童に対しては、「着替えをしてから遊ぼう」と手順カードや具体物を提示しながら、着替えを促し、できると称賛し、わずかな時間でも遊んでから、朝の会等の活動に入るようにしました。また、着替えでは上着を脱いだら体操服の上を着る、女の子は体操服のズボンをはいてからスカートを脱ぐ、という手順をカードで示しました。現在は片付けの手順カードは使用しなくてもできる児童がほとんどですが、片付けと着替えで手順カードの意味を理解することができたため、その他の場面でカード等の理解が進み、様々な活動に取り組めるようになっていきます。



3年生 ～手順表にチェックして～



Aくんの朝の支度手順表です。登校してからする活動は理解できていると思われるのですが、いざするとすると、時間がかかったり、他ごとをしたり、何をしたいか分からなかったりして不安定になっていました。そこで、3年生になって、分かっていると思われる活動を見て分かるようにし、できたらチェックするようにしたものです。この手順表を使うことで、落ち着いて朝の支度ができ、指導者からの言葉かけがなくても動けるようになりました。最近では、自分で都合の良い順番に替えて活動していることもあります。今後は、活動項目を自分で並べて、自分の行動を計画できるように、手順表を改善していけたらと思います。何気ない支援グッズですが、困り感をなくすことで、子どもの行動を変えられることを実感できた支援グッズです。

5年生 ～調理実習の準備や片付け～

みんなの大好きな調理の学習を通して、様々な準備や片付けの活動に取り組んでいます。お楽しみ会や調理実習でご飯を炊くためにお米を洗う、使った食器を洗う等の経験を繰り返すことで、自分達でできる活動を増やしていています。学校生活の中では、生活単元学習の授業の一つとして取り組んでおり、指導者と一緒に、日常生活の中にある準備や後片付けの活動を体験する機会を小学部の段階からしっかりと設定して取り組んでいます。

この経験が日常生活の中で定着していくためには、まだまだ時間がかかりますが、お米ってどうやって炊くの、汚れた食器の洗い方はこれでいいの、等の小さな疑問を一つずつ解決していく活動を積み重ねて、一人一人の自立に向けた力を育てていけたらと思います。





中 学 部



中学部では、各学年が年1回「社会見学」を行い、進路に関する学習をします。公共施設や企業の見学、体験を通して、社会参加や働くことへの意識を高めました。それぞれの学年の様子を紹介します。

～ 中1～

雨の中でしたが、香南アグリームで、香川県の郷土料理である「しっぽくうどん」の作り方の説明を聞いて、いろいろな工程を体験しながら意欲的にうどん作りに取り組んできました。自分たちで作ったうどんの味は格別だったようで、どの生徒もおいしそうに食べていました。また、挨拶をすること、食べるものを作る時には服装を整えること、片付けまで丁寧にすること等、働く上で大切なことも学んできました。



～ 中2～

高松空港の近くにある「香南アグリーム」で、うどん打ち体験をしました。小麦粉をまぜて、こねて、のぼして、そして切る。うどんができるまで、たくさんの工程があること知り、それぞれの工程を楽しみながら意欲的に取り組むことができました。最後は、自分たちで打ったうどんと施設内で採れた野菜とで、温かなしっぽくうどんが出来上がり、みんなでおいしくいただきました。



～ 中3～

障がい福祉サービス事業ほのぼのワークハウスと社会福祉法人もえぎの会もえぎの里を見学しました。ほのぼのワークハウスでは、軽作業やクッキー作りなどについて詳しく説明をしていただきました。また、余暇活動として絵画教室や音楽教室などの説明もしていただき、実際に音楽のガムランの演奏を聴くことができました。もえぎの里では、作業の様子を見学して本校の先輩たちの働く姿を見たり、分からないことや疑問に思うことを積極的に質問したりして、「働く」ということについて考える良い機会となりました。もえぎの里に併設されたカフェ「アイ」でランチを食べ、おしゃれな働く空間や、販売しているパンやお菓子を若竹祭の模擬店の参考にしました。



ほのぼのワークハウスで、真剣に説明を聞いています。



喫茶「アイ」でおいしいランチを食べました。